

保護者様

令和5年1月16日

倉敷市立琴浦南小学校
校長 星島 佳奈美

令和4年度 学校評価について (お知らせ)

初春の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素から本校教育の推進につきまして、ご理解とご協力を賜り、深く感謝しております。

さて、先日「学校評価アンケート」をお願いいたしましたところ、ご多用の中をたくさんの方の保護者のみなさまからご回答をいただきましてありがとうございました。集計ができましたのでお知らせいたします。

< アンケート結果から見えること >

アンケート結果から多くの項目において「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計(肯定的回答)が90%以上の項目が9つあり昨年度より5項目増えました。80%以上の項目に至っては15こもあり、本校の教育方針にご理解とご賛同いただけていることがうかがわれ、うれしく思います。しかし、肯定的回答が徐々に下がっている項目もあり、保護者の期待と要望を感じ、更なる改善と努力に努める必要性を感じました。

< 成果 >

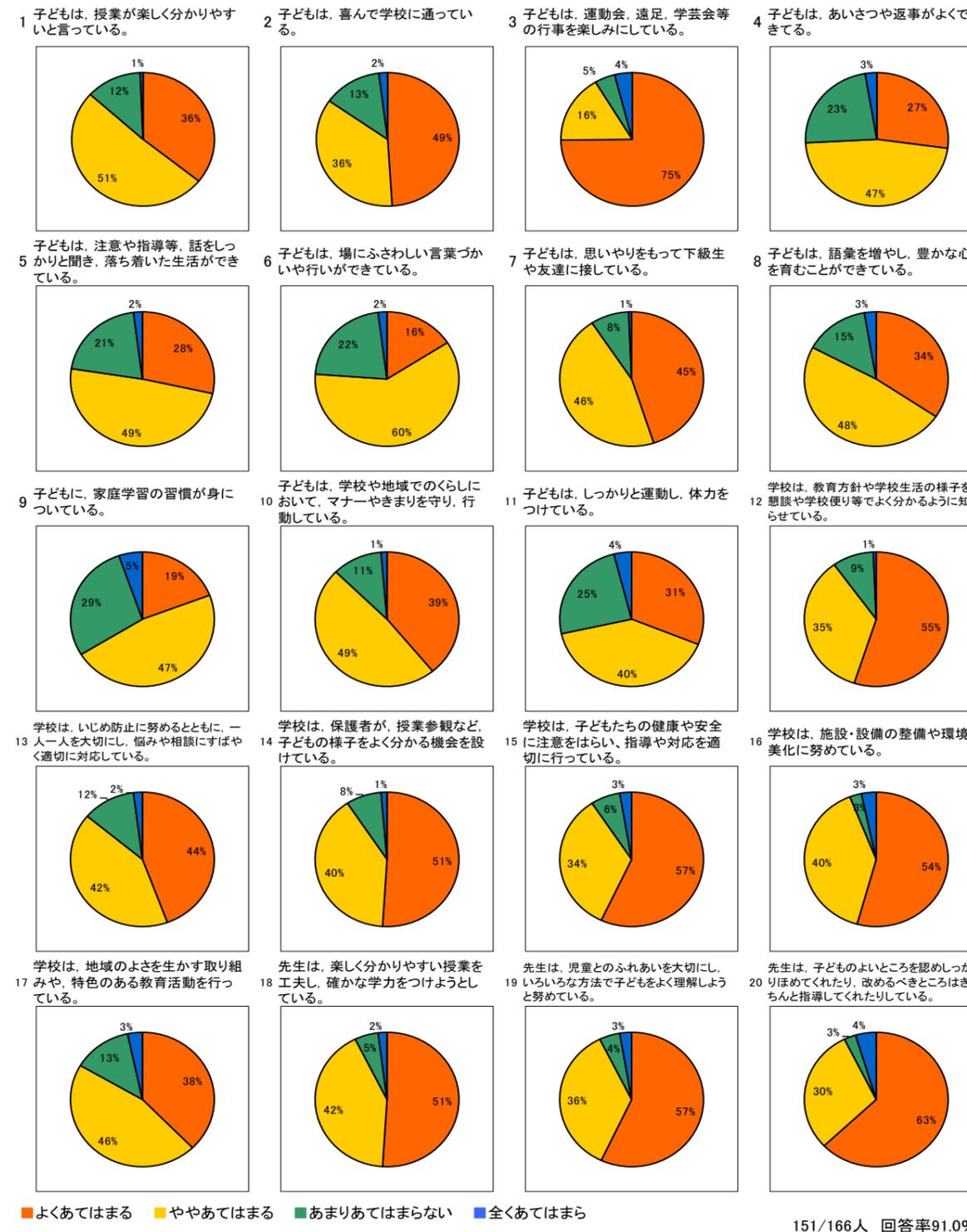
項目1「子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている」は肯定回答(87%)が昨年度より6%上昇し、項目18「先生は楽しくわかりやすい授業を工夫し、確かな学力をつけようとしている」肯定回答93%は、よくあてはまると回答した方で5%も上昇しました。校内の教員研修でICTを活用した授業改革を進めています。授業中タブレット端末を活用することで、課題の内容が理解しやすかったり発表の場面が増えたりと、児童が主体的に学習に取り組むようになってきました。児童が授業で達成感を味わうことができた実感できたのなら、幸いです。保護者にとってもロイロノートの通知で学習の様子の一部が伝わってきたのではないのでしょうか。

項目19「先生は、児童とのふれあいを大切にし、いろいろな方法で子どもをよく理解しようと努めている」、項目20「先生は、子どものよいところを認めしっかりほめてくれたり、改めるべきところはきちんと指導してくれたりしている」どちらも肯定回答93%(昨年度より上昇)と、高評価をいただきました。昨年度より教科担任制を取り入れ多くの教員が授業に入るようになり、多方面から子どもを見るのがしやすくなりました。授業以外にも休み時間や掃除の時間に担任以外の教員に、声をかけられたりグッドビヘイビアカードをもらったりした児童が増えたのではないのでしょうか。教員内でもどの子にも話しかけられるように、週2回生徒指導情報交換会を開き子どもの様子やかかわり方について共通理解する場として大切にしています。

どんな子どもに育ってほしいか (記述式 ※回答文言から単語を集計)

- 優しい・思いやり(協力・仲良く・助け合い・他者の気持ちがわかる): 108
- 努力・挑戦・粘り強さ(責任をもって最後まで・あきらめない等): 39
- 自立・自己解決(柔軟な考え・考えて行動・自主性・自己肯定): 20
- 明朗活発(元気・明るい・素直・行動力): 18 ● 考えをもつ・創意工夫・表現・話を聞く: 14
- 挨拶・礼儀・感謝: 9 ● 公平・規律・善悪の判断: 3 ● 個性・自分らしさ: 2

保護者アンケート集計結果



< 課題 >

項目4「子どもは、あいさつや返事がよくできている」肯定回答74%(昨年より6%減)、項目6「子どもは、場にふさわしい言葉づかいや行いができている」肯定回答76%(3年連続減少)と厳しいご回答をいただきました。教職員のアンケートの結果も同じ傾向になっており、課題に感じております。登校時の校門でのあいさつや授業開始のあいさつなど、決まった場や人とのあいさつは比較的できているようですが、下校中や下校後などの突然の対応については苦手で、適切なあいさつや受け答えができていないようです。今後も引き続き指導をしていきたいと思っております。

また、項目11「子どもは、しっかりと運動し、体力をつけている」肯定回答71%(前年より6%減)は、コロナ禍において運動の機会が制限されたことが原因と推察されます。夏場の熱中症対策のため運動制限もあり、子どもも思う存分遊びができないことが多くありました。プールでの授業も再開され、体育参観日も実施できましたがコロナ禍前に比べると運動量は少なくなっています。家庭でも外遊びより屋内でゲームなどをする子が多いことでしょう。メディアと運動のバランスがとれるよう「早寝・早起き・朝ごはんカード」を活用し、よりよい生活習慣が保てるよう指導していきたいと思っております。

最後に全項目中肯定回答が一番少なかったのが項目9「子どもに、家庭学習の習慣が身についている」肯定回答66%です。ご家庭でも子どもの家庭学習をしている様子が見えるだけに、厳しいご回答をされたことと思います。今後、タブレットの持ち帰りの頻度が上がりICTを活用した課題が増えてくることが予想されます。子どもの達成度を学校でも確認しながら家庭と連携し、学習習慣を定着させていきたいと思っております。

貴重なご意見や温かい励ましのお言葉などをいただき、ありがとうございました。今後も何かお気づきの点があれば、遠慮なくご相談ください。また、本校の教育推進につきまして、これまでと変わらぬご理解ご協力のほど、よろしく願います。